

みずほCustomer Desk Report 2018/06/14 号(As of 2018/06/13)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.52
TKY 9:00AM	110.45	1.1747	129.78	1.3371	0.7574
SYD-NY High	110.85	1.1801	130.34	1.3390	0.7609
SYD-NY Low	110.27	1.1725	129.71	1.3309	0.7530
NY 5:00 PM	110.35	1.1791	130.12	1.3377	0.7579
NY DOW	25,201.20	▲ 119.53	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,695.70	▲ 8.10	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,775.63	▲ 11.22	米国2年債	2.5717	2.89bp
日経平均	22,966.38	88.03	米国5年債	2.8357	2.38bp
TOPIX	1,800.37	7.55	米国10年債	2.9728	0.92bp
シカゴ日経先物	22,820.00	▲ 15.00	独10年債	0.4815	▲ 0.70bp
ロンドンFT	7,703.71	▲ 0.10	英10年債	1.3665	▲ 3.15bp
DAX	12,890.58	48.28	豪10年債	2.7850	▲ 1.35bp
ハンセン指数	30,725.15	▲ 377.91	USDJPY 1M Vol	6.70	▲ 0.10%
上海総合	3,049.80	▲ 30.01	USDJPY 3M Vol	7.15	0.00%
NY金	1,301.30	1.90	USDJPY 6M Vol	7.75	0.00%
WTI	66.64	0.28	USDJPY 1M 25RR	-0.74	Yen Call Over
CRB指数	200.09	▲ 0.05	EURJPY 3M Vol	8.80	▲ 0.17%
ドルインデックス	93.71	▲ 0.09	EURJPY 6M Vol	9.03	▲ 0.19%

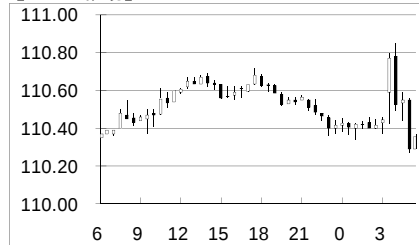
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月13日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0.4%/2.4%	0.4%/2.4%
	17:30	英 CPIコア(前年比)	5月 2.1%	2.1%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	5月 0.5%/3.1%	0.3%/2.8%
6月14日	03:00	米 FOMC政策金利	- 1.75%-2.00%	1.75%-2.00%
	03:30	米 パウエルFRB議長 講演 「今がフォワードガイダンス削除に適した時期」		

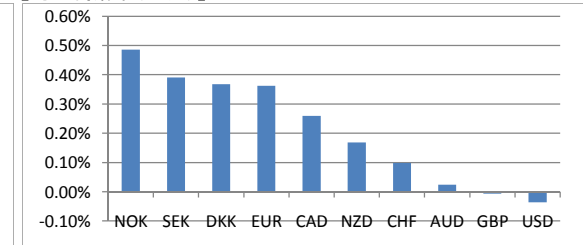
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月14日	10:30	豪 雇用者数変化	5月 19.0k	22.6k
	10:30	豪 失業率	5月 5.5%	5.6%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 0.5%/2.2%	0.5%/2.2%
	20:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	5月 0.4%	0.2%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	5月 0.5%	0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.60-111.60	1.1750-1.1900	129.30-130.80

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は、FOMC結果を受け上下に乱高下する展開。注目のFOMCでは市場予想通りに0.2%の利上げが実施され、発表直後のドル円相場は上下に乱高下する展開となった。直後は110円台後半まで急騰する場面も見られたが、その後はSell the Factの展開にドル売りが強まり、引けにかけてドル円は110円台前半まで下落する展開となった。本日は前日のFOMC結果を受け、ポジション調整に絡むドル売りフローが継続するものと見られるが、今晚にはECB理事会を控えていることもあり、東京時間の値幅は限定的となろう。

東京	東京時間、110.45レベルで取引を開始したドル円は110.37を付ける場面も見られたが、米朝首脳会談を無難に通過したことを受けてリスクオフの展開。高寄りした日経平均株価が上げ幅を拡大する中、ドル円は110.61まで上昇。その後、やや反落する場面も見られたが、株高の流れが継続したことから底堅い展開となり、109.69まで続伸。その後は本日から日米欧の中銀会合を控えていることもあり、上値を試す展開とはならず、110.57レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、110.57レベルでオープン。110.72まで上昇後はFOMCを控えていることから上値を試す展開とはならず、110.55レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3357レベルでオープン。英5月CPIと英5月小売売上高はほぼ予想通りの水準であったものの、1.3309まで下落。その後は下げ幅を縮小し、1.3334レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円はFOMC結果発表を控え膠着状態が続き、110.55レベルでNYオープン。米5月生産者物価指数は予想比上振れるも、ドル円の反応は薄く、NY午前中は110.40付近で推移。その後FOMCでは、政策金利は事前予想通り1.75%-2.00%に25bp引き上げられ、今年2回目の利上げが実施された。声明文では「金利は長期的に有効な水準を下回る」との文言が削除され、同時に発表された経済見通しでも、GDP/失業率/インフレ率が従来見通しから総じてポジティブに修正されたうえ、政策金利見直し(ドット)では、2018年利上げ回数が4回に上方修正され(前回は3回)、年内あと2回の利上げ実施を示す内容となった。効派なFOMC結果と受け止められたことから、発表直後からドル全面高となり、ドル円は高値110.85まで急騰。しかし、パウエルFRB議長記者会見が期待ほどには効派なスタンスではなかったことから、ドルは反転。一部報道を受け「米国が中国に対し関税措置を近日中に実施するのではないか」との懸念が高まったことも下押し材料となり、ドル円はFOMC発表前の水準を下げ安値110.27まで下落し、110.35レベルでクロス。なお、パウエル議長は、来年1月から毎回のFOMC後に記者会見することを明らかにした。一方、1.1756レベルでNYオープンしたユーロドルは、FOMCを受けたドルに振られる展開。FOMC直後はドル全面高の展開に安値1.1725まで急落したが、パウエル議長会見後は高値1.1801まで急反発し、1.1791レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償で提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 橋・田家